

《最近の県内経済》 (2025年11月を中心として)

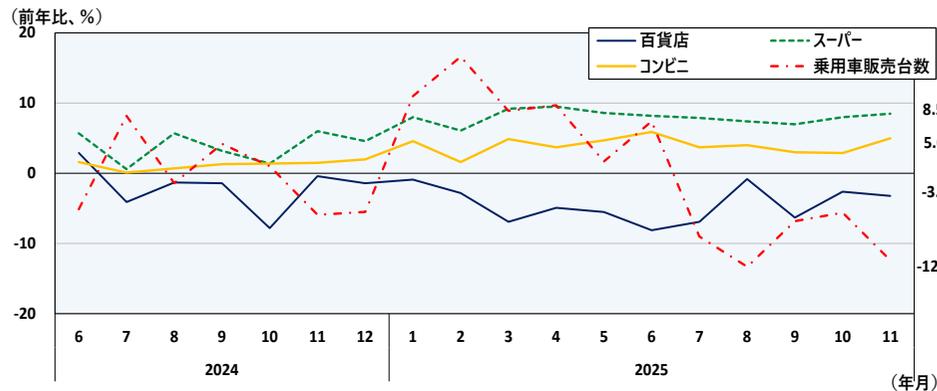
今月の概要

緩やかに回復している



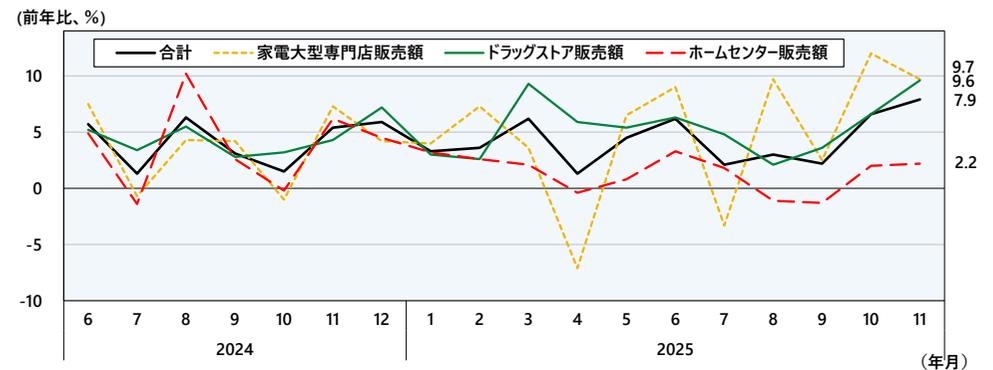
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

11月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は138億円で前年比3.2%減(17か月連続の減少)、スーパーは1,181億円で前月に比べ伸びを高め同8.5%の増加(38か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は586億円で同5.0%増加(19か月連続の増加)した。食料品は節約志向による買上点数の減少傾向が見られたが、単価上昇により販売額は伸長した。

また、乗用車販売は、前年比12.4%減と5か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同16.0%減(5か月連続の減少)、小型車が同3.2%減(5か月連続の減少)、軽自動車と同12.8%減(2か月ぶりの減少)となった。新型車が少なかったこと、半導体不足、登録稼働日が前年比少なかったこと等が影響したとみられる。

11月の専門量販店販売額は861億円で前年比7.9%増と38か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が195億円で同9.7%増(4か月連続の増加)、ドラッグストアが472億円で同9.6%増(42か月連続の増加)、ホームセンターが194億円で同2.2%増(2か月連続の増加)といずれも増加した。

家電大型専門店では、パソコンの買い替え需要の継続とエアコンの好調さが売上増に大きく寄与した。

ドラッグストアでは客数・客単価ともに増加、ホームセンターでは日用消耗品、季節商品が堅調に推移した。

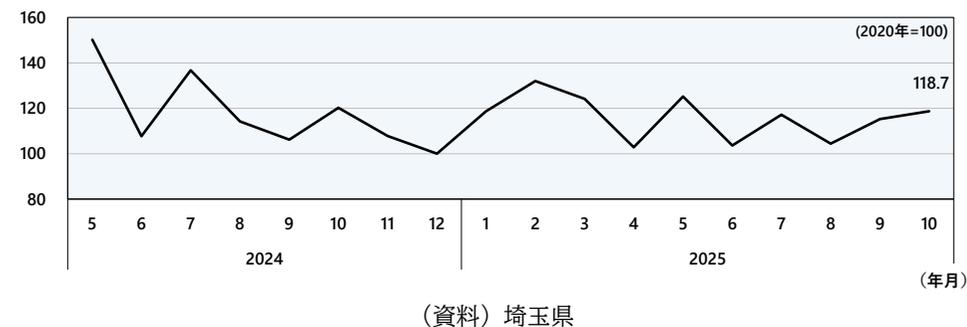
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、10月<36.3>、11月<37.2>、12月<37.4>と推移している。

## 2 設備投資 ~増加基調にある ➡



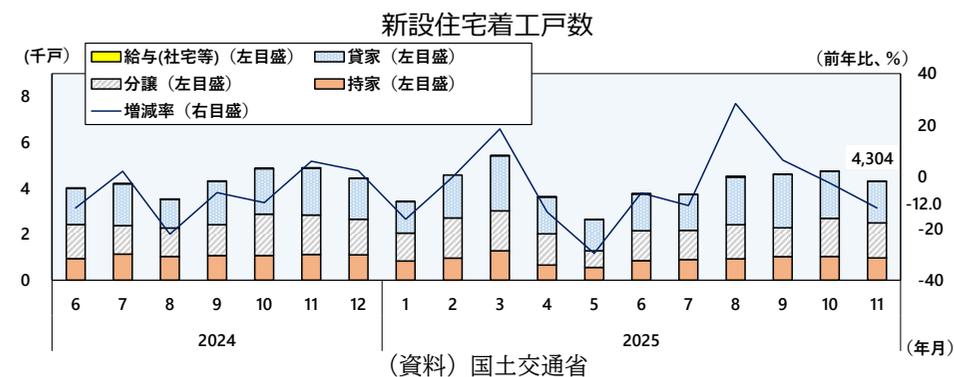
11月の民間建築着工床面積（非居住用）は、136千㎡で前年比49.9%増加した（5か月後方移動平均では、前年比15.2%減少）。用途別にみると、事務所、工場及び作業場は減少したものの、店舗、倉庫、学校の校舎、病院・診療所は増加した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



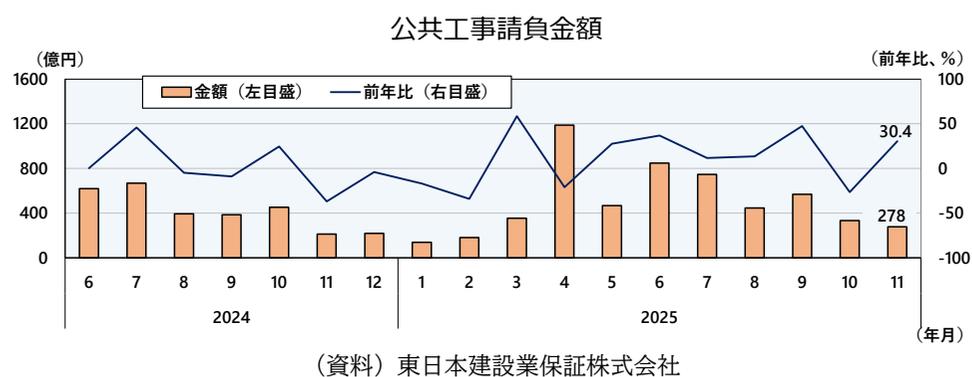
10月の資本財出荷指数（季節調整済）は118.7で、前月比3.0%増加した（5か月後方移動平均では、111.8で、前年比4.4%減少）。

## 3 住宅建設 ~弱含んでいる ➡



11月の新設住宅着工戸数は、4,304戸で前年比12.0%減少した（5か月後方移動平均では、4,386戸、前年比0.5%増）。利用関係別にみると、分譲一戸建て（1,161戸）が同11.1%増となったものの、貸家（1,811戸）が同11.7%減、持家（966戸）が同13.6%減、分譲マンション（353戸）が同45.3%減となった。

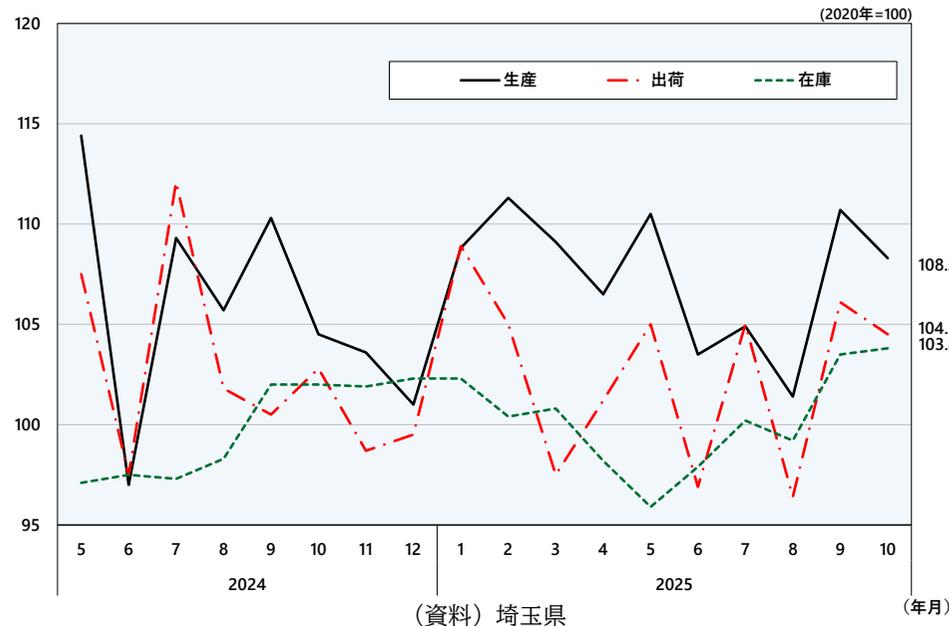
## 4 公共工事 ~底堅く推移している ➡



11月の公共工事請負額は278億円、前年比30.4%増加した。5か月後方移動平均では、475億円、前年比12.3%増で推移。発注者別の前年比をみると独立行政法人等、都道府県は減少したものの、国、市区町村、地方公社は増加した。

## 5 生産活動～底堅く推移している →

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)

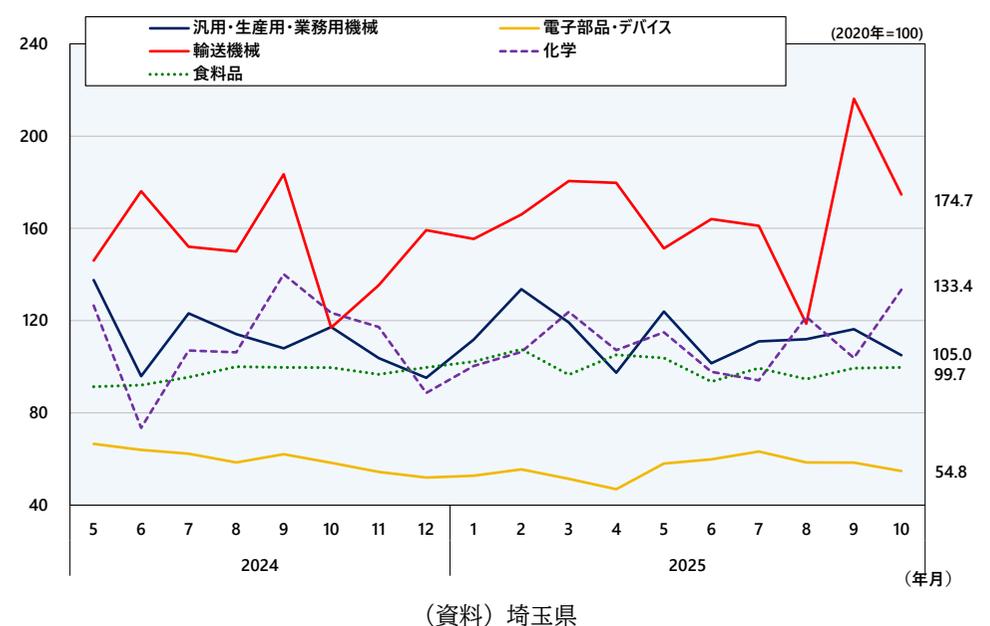


10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、108.3で前月比2.2%低下(2か月ぶりの低下)した。化学(医薬品、ビタミン含有保健剤)、電気機械(電力変換装置、開閉制御装置)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、104.5で同1.5%低下(2か月ぶりの低下)した。情報通信機械(ガス警報器、交換機)、業務用機械(精密測定機、分析機器)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下した。

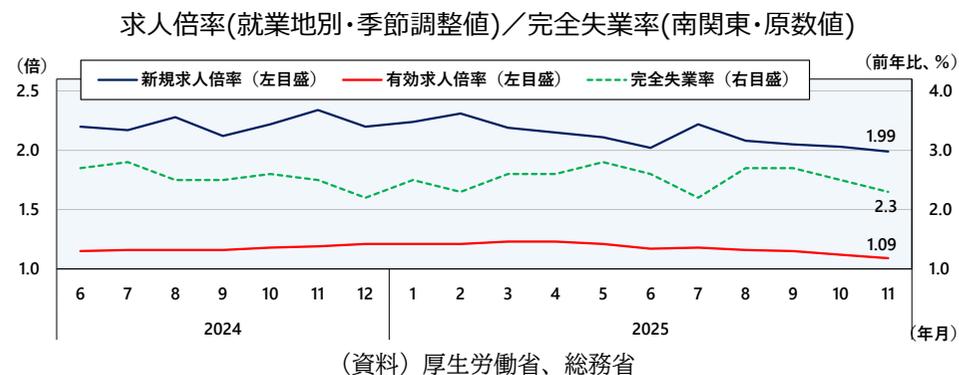
在庫指数(同)は、103.8で同0.3%上昇(2か月連続の上昇)した。プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)、窯業・土石製品(ポルトランドセメントクリンカ、セメント)などが低下したが、生産用機械(マシニングセンタ、刈払機)、電気機械(電気計器、クッキングヒーター)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



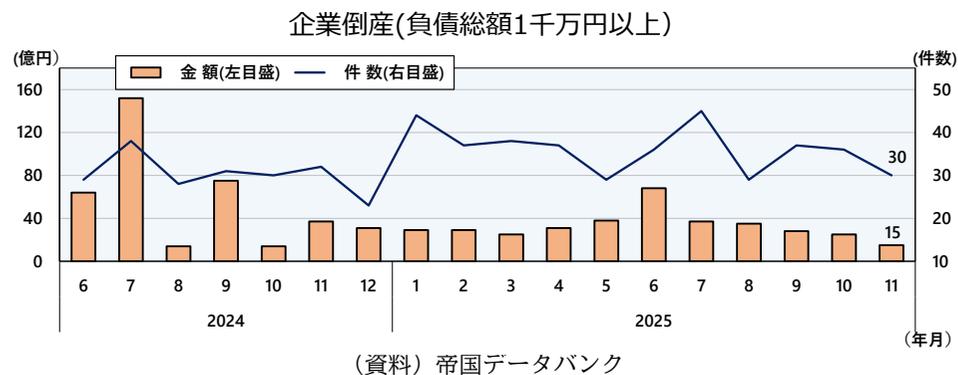
- ・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、105.0で前月比9.7%低下し、4か月ぶりの低下となった。
- ・電子部品・デバイス(同)は、54.8で同6.2%低下し、3か月連続の低下となった。
- ・輸送機械(同)は、174.7で同19.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ・化学(同)は、133.4で同28.5%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・食料品(同)は、99.7で同0.3%上昇し、2か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ➡



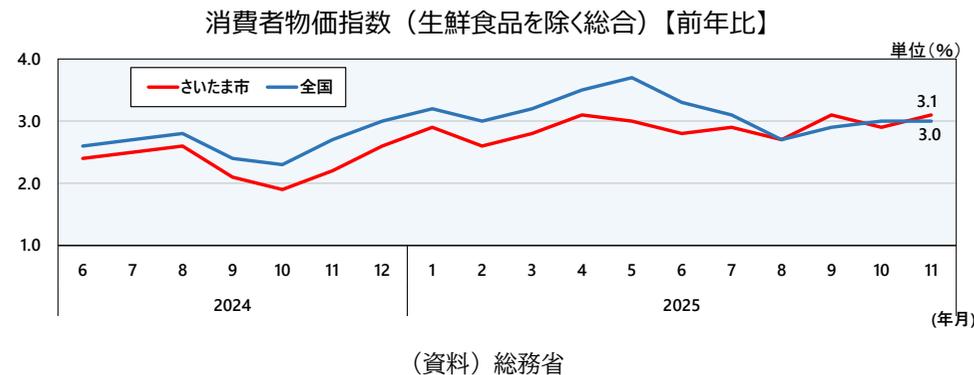
11月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.09倍で前月比0.03<sup>ポイント</sup>低下した。新規求人倍率(同)は、1.99倍で同比0.04<sup>ポイント</sup>低下した。  
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.3%で前年同月比0.2%低下した(前年同月比2か月連続の低下)。

## 7 企業倒産 ~緩やかな増加基調にある ➡



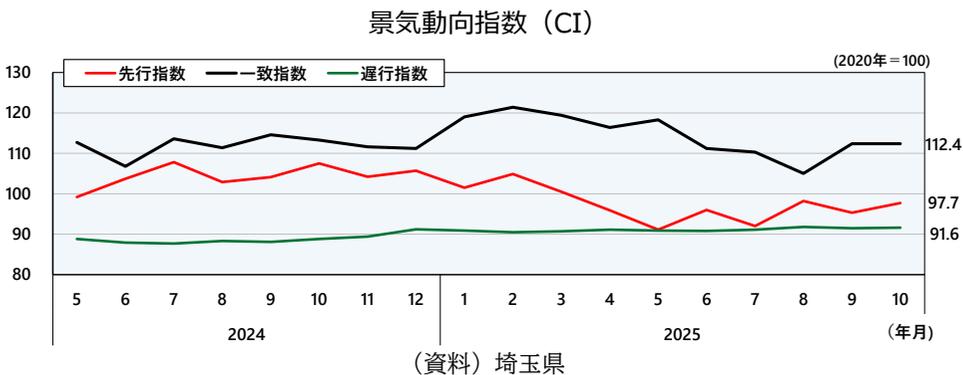
11月の企業倒産件数は30件で前年同月比2件減少した。また、負債総額は15億円で同比22億円減少した(5か月移動平均では、件数は前年比3件増加、負債総額は同30億円の減少)。  
業種別にみると、建設業と卸売業が最多で各7件、次いで運輸・通信業とサービス業が各4件となっている。主因別では、販売不振が27件となっている。

## 8 消費者物価 ~緩やかに上昇している ➡



11月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、111.3で前年同月比3.1%上昇した(50か月連続の前年同月上昇)。  
食料(穀類(うるち米など))、交通・通信(自動車等関係費(自動車整備費(パンク修理)など))などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- ・10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、112.4で前月比横ばいとなった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、97.7で同2.4<sup>ポイント</sup>上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.6で同0.1<sup>ポイント</sup>上昇し、2か月ぶりの上昇となった。